

令和元年度北浦小学校第2学期授業参観・学級懇談会

令和元年11月6日

- 1 「情報モラル」に関する話 (12:40～12:55) 体育館
…野口修成 教諭
- 2 音楽発表会 (13:00～13:40) 体育館
～プログラム～
- (1) 北浦小学校
- ①『ふるさと』 …全校合唱
- ②『ずいすいずっころばし』 …5,6年生
- ③『心のノート』 代表児童合唱
- (3) 北浦三育中学校
- ①『Every Time』
- ②『ダビデとゴリアテ』
- ③ハンドベル演奏
- ④『ハレルヤ』
- 3 授業参観 (14:00～14:45) 各教室
- ※以前、出した文書では13:50からの案内でした。14:00からに訂正いたします。
- 4 学級懇談会 (14:50～15:40) 各教室



～保護者の皆様へ～

授業参観に先立ちまして、体育館にて「情報モラルに関する話」、「音楽発表会」を行います。「情報モラル」に関する話は、お子さまのSNSの使い方等に関わるお話を、実際に起こりうる場面を想定して、「では、どうすればよいのか」ということについて保護者の皆様と一緒に考えさせていただければと考えています。また「音楽発表会」では、全校合唱と本校の5,6年生が参加します「市音楽発表会」、「県小中学校芸術祭小中学校合唱合奏大会」にて披露する楽曲を発表いたします。また、ゲストとして北浦三育中学校をお迎えして、合唱とハンドベルの演奏を御披露いただきます。ぜひお楽しみください。

授業参観では、全学級で「特別な教科 道徳」を行います。お子様が、熱心に学習に取り組む様子をご覧ください。懇談会では、御家庭と学校相互の情報交換が行えればと考えております。どうぞよろしくお願



○『ふるさと』 <作詞:小山薫堂 作曲:youth case>

2010年の「第61回NHK紅白歌合戦」で制作された「ふるさと」は、その後、Nコンの課題曲として2番の歌詞が新たに書き下ろされました。

作詞を手がけた小山薫堂氏は「ふるさととは場所だけではなく、いつでも自分の心の中にあって、生きて行く上で芯になる、冒険でたとえるならば方位磁石のようなものである」と語ります。決して迷わないために、迷ったときは自分の原点にもう一度立ち返れる場所「ふるさと」。

様々な経験を積んで、それぞれの心の中にある大切な「ふるさと」を思いながら、自分の「ふるさと」を築き上げてほしいという願いが込められています。

～「みんなのうた」HPより 記事抜粋(一部改)～



○『ずいずいずっころばし』 <日本の童謡>

日本に伝わるわらべうた。歌詞の意味としては、『胡麻味噌(ごみそ)をさすっていると「お茶壺道中」が来るというので、家の中に入って戸をピシヤリと閉めて(=トッピンシャン)じっとしています。そして、お茶壺道中が通り過ぎたら、一息つきましよう(=ぬけたらドンドコショ)。ところで、家の中でじっとしていたとき、米をかじっているネズミの鳴き声や、井戸の近くで茶碗が割れたような音まで聞こえてきたよ。』

というもの(一説)です。

「お茶壺道中」は、宇治茶(現在の京都府宇治市の名産品)の新茶を、江戸(現在の東京)にいる将軍に届けるための「茶壺」を運ぶ行列のことです。当時の人々は「茶壺」に対して粗相(そそ)がないように、細心の注意をはらっていました。そして、子どもたちは両親に呼ばれても決して外に出てはならないと教えられました。

～「ウィキペディア」抜粋(一部改)～

○『心のノート』 <作詞/作曲:岡崎体育 編曲:本間昭光>

「心のノート」は岡崎体育氏と日野市立七生緑小学校合唱団のコラボ曲として制作されました。この楽曲は、2019年、卒業シーズンである1月～3月のTVアニメ「ポケットモンスター サン&ムーン」のエンディングテーマとしても起用されました。

日野市立七生緑小学校合唱団は「NHK全国学校音楽コンクール」の「小学校の部」で6年連続金賞を受賞した団体で、感銘を受けた岡崎体育氏の「彼女らに合唱曲を書き下ろしたい!」という思いからコラボレーションが実現しました。

岡崎体育氏は、「心のノート」について「この曲を今の子供たちが聴いて歌って、大切な気持ちを感じ取ってくれたら、僕は一端の音楽家として後世に何かを残せたことになるのでしょうか。そうであるといいなと思います。世界中の子どもたちに届きますように」とコメントしています。



～「音楽ナタリー」HPより記事抜粋(一部改)～